研究者招へい講演会

AI時代における人間の主体性と「新たな知の生成」

―― 私たちはなぜ・いかに外国語を学ぶのか



講演者

岳遠坤 氏

（北京大学准教授）

日時

2026年12月4日（金）
14:25 - 15:55

教室

学舎 308 教室

対象：神戸市外大と神戸高専の学生・教職員および 一般の方々

対面の方は事前申し込み不要。ZOOM参加の方は
右のQRコードから12月3日までにお申し込みください。

講演概要

生成AIの普及により、出来合いの答えが簡単に手に入る時代に、外国語を学ぶ意義はどこにあり、我々はどう学ぶべきなのでしょうか。講演者は日本文学の研究、翻訳、そして日本語教育に長年携わられてきました。北京大学日本語科での「基礎日本語」の授業実践を踏まえ、今後の語学教育におけるAIの活用や異文化交流の実践などについて、幅広い観点からお話しいただきます。

科研費 KAKENHI

本講演は日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C)
「学習者の曖昧さへの許容度(ToA)を向上させる存在としての第二外国語教育」
（研究代表者：西村英希［近畿大学］）の支援を受けております。

問い合わせ先：n-hayashi@inst.kobe-cufs.ac.jp ［林］

このポスターはChatGPT-5.5を利用して作成しました。